

事業実績報告書

様式2
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-32	講座名	都市近郊田で、無農薬のコメ作り、生きもの豊かな田んぼ作り
記載日	2021/12/5	団体名・企業名	NPO法人日進野菜塾
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>田んぼは里地里山の中核的存在であり、田なくして「里地里山」はない。しかし今日、米の消費が減り、田んぼの持つ生物多様性と、意義・関心が失われてきている。そもそも体験できる場がなくなっている。そのため本講座は、①田んぼでの栽培プロセスの体験機会を用意 ②生物多様性の豊かな恵み、無農薬・有機栽培方式の重要性を実地で学ぶこととした。</p> <p>全体で10回を組み、そのうち草取り参加者を増やすため、参加回数に応じて、収穫米を渡す仕組みとした。参加者は「自分の田んぼ」という意識を持ち、最後まで熱心に取り組んでくれた。来年も参加したいという声も多く聞かれた。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
除草剤を使用しないので、手作業で根気よく草取りに取り組んだ。(7/18)		草刈ガマで手刈りした稲を、木と竹で作成した「ハザ」に天日干し。(10/10)	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>無農薬栽培米の最大の課題は、いかに雑草を防ぐかにある。そのためには継続して草取りに参加してもらう必要がある。前回同様に、参加回数に応じた量の収穫米をお渡しする仕組みを継続。その結果、草は抑えられ、参加者の意欲、参加率とも大幅アップ。米の収穫量も良好で、望ましいこととなった。この仕組みを今後とも継続したい。「こうすれば無農薬栽培米」方式を教訓化して、一般に開示、多くの人、団体が取り組めるようにしたい。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<p>○田植えから収穫まで一通り体験できて楽しかった。思っていたよりも分かりやすかった。お米がたくさん収穫できて良かった。 ○説明が十分だった。お米ができる過程が良く分かった。 ○毎回、綿密に準備して下さり、とても感謝しています。 ○念願の田植えを泥んこになって、家族と一緒に経験できて満足。生き物との出会い、米作りの大変さ、本当に良い経験をさせて頂き、感謝しております。 ○数回程度の体験ではなく、10回をしっかりと学べるカリキュラムが良かったです。多くの人にも受講をしてもらいたいため、今後も是非この講座を継続して頂きたいと思えます。</p>			